

## ※平成30年度高知県軟式野球連盟少年学童部会活動等

### 1、学童野球の目的

野球を通じて様々な大切な事を学んでもらう。子ども達の育成の為に。勝利至上主義をやめよう。

礼儀・感謝・友情・思いやり・助け合い・支えあい・道具を大切に・ルールを守る・人として成長

新しい考えや新しい指導法を取り得よう！指導者自身が人として成長しよう！

### 2、全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメントについて

・推薦枠として高知県少年野球春季選手権大会(室戸大会)の優勝チームと

高知県小学生野球東部春季大会の県内上位1チームに県大会出場権を与える。

その関係等で県大会出場チーム数を16-18チームとする。上記大会の結果によって決定

・連合チームについては統一されたユニフォームが望ましいが県大会に関しては統一されてなくても出場は認める。

しかし全国・四国大会など県外大会の際には統一ユニフォームで出場すること。

(支部予選について)

2018年から原則トーナメントもしくは推薦で支部代表を決定すること。

リーグ戦等のポイント制での選出は禁止。ただしリーグ戦に投球制限や補欠ゼロルールなど整備されている場合は許可する。

※全国スポーツ少年団交流大会と全日本学童大会の全国大会には重複して出場する事は出来ない。

スポ少高知県優勝チームが全日本学童で優勝した場合にスポ少四国大会の出場権を辞退する事が出来る。

### (投手・捕手を複数育てよう！本大会ダブルヘッダー)

本大会ではチーム、保護者の負担軽減を考え大会期間短縮と将来の事を考え1人の選手に負担をかけない為にも複数投手・捕手を

育成するチーム作りを推奨。今大会ではダブルヘッダーを主とする。

### 3、全日本軟式野球連盟公認の各大会出場チームの選考及び選出

※順位は優勝チームに準決勝で敗退チームが3位、優勝チームに準々決勝で敗れた5位とする。

1位から4位までの派遣先は事前に決定。5位からはチーム事情で辞退する事も出来る。

またチーム同士での話し合いで派遣先を変更する事を認める。

(優勝)	全日本学童	東京 (全国)	1チーム
(2位)	あわ踊りカップ	鳴門市 (全国)	1チーム
(3位・4位)	高野山旗	和歌山 (全国)	2チーム
	筑後川旗	久留米市 (西日本)	1-2チーム
	しまなみ	今治市 (中四国)	2チーム
	四国学童	持ち回り (四国)	2チーム※30年度は徳島県で開催
	西京新聞旗	山口市(招待)	2チーム
	近畿ろうきん杯	兵庫県(招待)	2チーム
	徳島県西部地区学童	徳島県(招待)	2チーム
	今治SOUTH親善試合	今治市(招待)	複数

### 4、高知県新人戦マクドナルドカップ

9月中旬～16チーム(8支部×2チーム推薦)今年初開催の大会。協賛のマクドナルドが優勝盾、メダルを用意。

支部より2チーム推薦で他の大会と重複した場合は支部内の他チームの出場チームをたてること。

### 5、野球人口拡大のアイデアと環境創り

野球人口拡大、底辺拡大を目指し様々なサポートやアイデアと環境創り

ティーボール・オレンジボールを活用した各種イベントや大会等。各チームでの活動等をSNS等での広報活動

本年度より底辺拡大、普及チームを結成。各支部よりリーダーを選出。

### 6、女子競技者の普及推進活動

①4月より県下3年生～6年生の選手を募り月1・2回練習・野球教室、試合を行う。詳細については3月上旬

②NPBガールズトーナメント(女子全国)に高知県選抜チームを結成し出場を目指す。

会期:平成30年8月8日(水)～8月12日(火) 愛媛県

3月上旬より募集 ※詳細は別途募集案内でご確認下さい。

※詳細は別途募集案内でご確認下さい。

③高知FD杯 女子学童大会

5/6(日)高知球場

四国内・高知県下女子学童選手の参加者を募集し2-3チーム予定。

### 7、U-12高知県タレント選手発掘・育成・強化プロジェクト

県スポーツ課の事業として競技者一貫プログラムに基づき選手の育成・強化を行う。

高知市内は月2回ほど平日ナイターで中学教員他元プロ野球選手による指導。4月より県西部、東部で各1ヶ月1回、高知市内と同じ

内容の指導法、メニュー、ドリル、医科学トレーニングなど行う。

### 8、暴力行為・暴言指導！根絶宣言の強化

殴る、蹴る、突き飛ばすなどの身体的制裁、言葉や態度による人格の否定、脅迫、威圧、いじめや嫌がらせ、さらに、

セクシュアルハラスメントなど、これらの暴力行為は、スポーツの価値を否定し、私たちのスポーツそのもの？

暴力行為はたとえどのような理由であれ、それ自体許されないものであり、スポーツのあらゆる場から根絶されなければならない。

しかしながら、極めて残念なことではあるが無くならない現状があります。また言葉の暴力も許さない

### 9、成長期のスポーツ障害防止の強化

子供たちの身体はまだ成長段階です。勝負にこだわり投げさせ過ぎ、肩肘を壊し思うように投げられなくなり

野球を辞めていった子供たちが沢山います。専門的な知識を身につけウォーミングアップ、クーラダウンを

必ず行なってください。講習会などは高知県体育協会と協力し行ないます。

### 10、その他の事業

・侍ジャパンU12支部推薦選手選出

・野球教室の開催及び協力

・指導者及び各種講習会

・6年生クラブの強化・充実